Habataki

患者の生活困難度を数値化

2013年6月20日 発行

平成2年度スタート

新たな事業も視野に新年度事業にまい進し

社会福祉法人 はばたき福祉事業団

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9 番 20 号 新小川町ビル 5F TEL 03-5228-1200 FAX 03-5227-7126 http://www.habatakifukushi.jp/

生きる力を高め、医療福祉を創造するはばたき福祉事業団

はばたき福祉事業団は、薬害H

患者が変われば、医療は変わる

7つの重点課題を設定し 本部・支部で事業達成を目指しま 25 年度事業

ਰ ਫ

取り掛かりました。 業団の理事会・評議員会において、 業報告・決算が承認され、25年度事業に 5 月 25日、社会福祉法人はばたき福祉事 24 年度

体の研究も、当事者に届く実現型研究に専 念します。自ら一歩踏み込む就労・医療が、 目指します。研究機関としてのはばたき主 常に実績を伴う相談・医療福 祉 の獲得を

情報提供システムと体制確保 HI>本来の病態及び合併症研究要請 検査・治療への相談・アクセスを確保

、々と扉を開いています。

今年度の重点課題は、

感染者・発症者増の傾向に対して、早め

・HI>感染被害患者の長期療養研究班と 連携・早期課題抽出と対応の実現

を数値化して客観的な状況を示す必要が

あ

HI>感染被害者遺族健康診断

用・根治、リハビリ・高齢者医療)と社会 生活構築(遺伝対応・小児慢性疾患自立支 血友病の包括的医療 (遺伝子治療等の

クトと被害患者長期療養ロードマップ立 患者へHI>就労実績の応用 境整備(企業ワークショップの充実、 ら診療拒否理由)、より安心できる就労環 ・医療・就労での差別を払拭 安定した事業運営確立のためのプロジ (風評被害か 肝炎

上

ありました。中でも、父親の利用者は6名に

一り、これは今までになかった傾向でした。

利用者に、遺族健診を受けた後の感想を尋

に

談員・専門家相談員・研究職員で事業達成もあり、本部・4支部が事務局を中心に相 を目指します。 多岐ですが、既に取 り掛かっている事業

ただき、ご支援をいただけますようお願 いたします。 ぜひより多くの方々にご理 解をして

客観的な被害者像を明らかに

でいます。この中で、患者の健康状態や日の整備に関する患者参加型研究」に取り組剤によるHIV感染被害者の長期療養体 害患者の長期療養に関する「血液凝固因子製 IV感染被 常 λ 制 動の機能、情動機能、痛みの感覚、日課の遂、活機能分類)の7つのコアセット(活力と欲発した生活機能の指標であるICF(国際生発した生活機能の指標であるICF(国際生物値化を行います。具体的には、WHOが開 \mathcal{O} 行、歩行、移動、職業)について、これまで 94名の方の聞き取りデータをもとに 生活困難度を数値化します。

評

って ビュー)、iPadを活用した生活状況調査、 その他に、集団面接調査(グルー 別患者の生活モニタリン いきます。 グ調査なども プインタ

ŋ

ました。行政を動かすには、

被害者の現

を動かすことはたいへん難しいものがあ

生活の実態調査を担っています。

4、を言葉を尽くして説明してきましたが、行これまで研究班や協議の場で被害者の現

断は、

も遺族の

手厚く充実した内容で好評の遺族健

父親の利用者も増えてい

応 の利用申込は17名あり、遠方からの利用者も組みとして健康診断を行っています。 昨年度族に対し、心身の不調の改善につながる取り ます。この事業では、高齢化が進んでいる遺 談・健康支援事業として継続して実施して

案プロジェクト

持ちの変化につながった利用者もいました。進めたような気がする」などの声があり、気ねたところ、「前向きになれた」、「一歩前に

また、遺族健診を利用するきっかけとしては

V 0) 「薬害のことを理解している病院だから」と 声が半数以上ありました。

の一助となるよう、より適切な支援を検 きるよう、はばたきの専門家相談員とACC 遺族の方が、今後もよりよい生活を送るため てていきます。また、事後フォローとして、 コーディネーターとで一緒に受診計画をた れの利用者の現状に沿った検査の選 今年度も引き続き事前訪問を行 実施していきます。 い、それが 択 が で

年から始まった新しい事業

薬害根絶「誓いの碑」の見学を行い ま

し、実行していく事業です。 昨年度から始まった事業で、 遺族自ら が

を行います。 碑」の見学と厚労省担当者も招いての勉強会 ます。また、遺族の強い思いから建立された、 面等でお聞きし、今後の支援の基にしていき 生労働省玄関横にある薬害根絶 今年は、遺族の生活状況や健康について 「誓いの

血友病と遺伝

<u>血友病</u>検査ありきではない相談体制の構築

では『遺伝検査』『出生前検査』とういう 前、後の支援体制が不十分な現状での『検 言葉ばかりが先行し、検査の目的や検査 』の実施に懸念を抱いています。 の乳房切除の話題が大きく取り上げら 伝子検査による将来の乳がん予防のた マスコミ等から伝わる情報 前診断や米国の有名女優の

者検査に関しては「検査ありき」ではなを行い、次に血友病家系の女性への保因いう病気、治療、医療制度等の情報提供備性支援』に着目しています。血友病と 談体制を構築することを目指していまい、「検査」以前の問題に焦点を当てた相 を目的とした研究班は遺伝子治療や遺伝血友病においては、血友病の課題克復 その自己決定へのサポートまた決定後の オローに関して当事者を含め専門家と 本人が自己決定することになります。 正解のないこのような問題は最終的

小児慢性疾患児の自立・次へのステップ 〜良いシステムを実現するために〜

 \mathcal{O}

やはり成育期にあると考えられます。題が明らかになることが多く、その根はありますが、成人になって就労などで問 ています。自立の定義は難しいところが 育を含めた環境は大変重要だと報告され 友病患者の自立の研究から成育期の教 **サークショッ** 業向けの就労

ん。他国のシステムの全てを導入するこに描いた餅"にしている訳にはいきませ ら実行しなければなりません。 とは難しいとしても実現可能なところか しさに溜息がます。しかしいつまでも 育・地域社会との連携システムの素晴ら どもを大切にする政策、医療・福祉・教 家である北欧に学んだ訳ですが、国の子 究を進めてきました。モデルを高福祉 分担研究として自立をテーマに調査 事業団では成育医療研究センター · 研 絵 国

転換をし、取大きな発想の 現のためにはす。提言の実 は多々ありま あげられても実行に到らないという事例 このように調査・研究が行われ提言が

り組んでいき

デンマークの取り組み

をまとめた報告書

H I V

感染者の就労支援の成果をもとに

次はHCV感染者へ

肝炎就労

援に取り組んできました。当初の企業へ 年度より本格的にHIV感染者の就労支 I V 感染者の自立をテー マに平成19

果、現在、企 動を続けた結 え、地道に活 なさを乗り越ムの参加の少 やシンポジウ 回収率の悪さ 紙面調査の World Hepatitis

2012年10月1日に 世界肝炎連盟の入会証。 加盟しました

プへの参加は

73 社 ーワークを通じての就労者も年々増 1819人となりました。また 加口

と協力し積極的に取り組みます。 もとに相談事業の中で、また肝炎患者会 肝炎患者の雇用に関して今迄の経験を あり、今年度は同じような悩みを抱える 昨年、世界肝炎連盟に加入したことも

提案し治療と社会生活の両立を実現し ていきたいと思います。 る一定期間治療に専念し復職する― の就労に関して『治療休暇制度』 — 、北兮こ関して『冶療休暇制度』 ―あまた疾患にとらわれず慢性疾患患者 を

映像システムを活用して 医療へのアクセス向上を目指す

同募金会

談支援の構築を行います を活用した生活状況調査に加えて、新た に映像システムを活用した緊急健康 る事業は3年目となりました。iPad 共同募金会の指定寄附金によ

ないため車で2時間以上かけて通院し地方在住の患者は、近くに医療機関が あると言えます。 療へのアクセスは非常に厳しい状況に り、家族の支援を受けながら通院してい 関節障害のために車の運転が困難にな る方もいます。今、地方在住の患者の医 ている方がいます。また、血友病による

できますので、iPad利用者だけではす。インターネットが利用できれば参加 応答や相談などを行うことを目指しま 医療者と遠隔地の患者が双方向で質疑 ステムを構築して全国の患者に配信し、 会をインターネットを利用した映像シ かけていきたいと思います。 方も参加可能ですので、多くの方に呼 なく、パソコンやスマホを所有している 今回の事業では、医療者等による講習

この5年間、

相談事業の取り組みとして

サークルさっぽろが5周 サークルさっぽろ

の参 ホテルポールスター札幌で行 ろ」開設5周年講演会を昨 加がありました。 • 相談室 エ「サー 年12月1日に クルさっぽ 約 30 名

通訳者の派遣、Webによる予約受付ない上の人が検査を受け、内、相談を受け以上の人が検査を受け、内、相談を受け検査を続け、これまでに約4、000名間の検査所は年末年始を除く毎土曜日のは画期的なことでした。北海道で初の民 まりました。開設にあたって、北海道大札幌市の理解を得られたことで実現が早して取り組むことになり、厚生労働省や ど少しずつ工夫を重ねてきました。 や抗体検査などで協力をいただいたこと学病院・札幌医大病院から医療者の派遣 いるHIVに関連した相談事業の一環と日でした。はばたき福祉事業団が行って 2007年12月1日、世界 「サークルさっぽろ」が誕 エイズデー のは

業を続けることの意味を理解し、 りNGO「イルファー釧路」の代表でも を振り返り、釧路労災病院の副院長であ 部の大野稔子さんのまとめで過ぎた5年話いただきました。また、北大病院看護 ただき、日本のHIVの現状についてお当日は厚労省から大渕雪栄様に来道い ある宮城島拓人先生の講演から、 この活 検査事

ることができま 動の大切さを知

いた多くの皆さ とご協力いただ めてきた札幌市 ともに事業を進

まに感謝します

さんの方が参加しました

5年間に関わりのあったたく

平成24年度 社会福祉法人会計統括表

貸借対照表

平成25年3月31日現在 (単位千円)					
勘定科目	合計	社会福祉事業	公益事業		
	資産の部			Ц	
流動資産	23, 328	5, 311	18, 017	7	
固定資産	269, 786	269, 786	0	ľ	
(基本財産)	100,000	100, 000	0	Γ	
(その他の固定資産)	169, 786	169, 786	0	3	
資産の部合計	293, 114	275, 097	18, 017	L	
	負債の部			_	
流動負債	3, 556	3, 366	190	L.	
固定負債	0	0	0	4	
負債の部合計	3, 556	3, 366	190		
純	資産 (資本)	の部		Г	
基本金	10, 000	9, 000	1, 000		
資本金	0	0	0	L	
国庫補助金等特別積立金	459	459	0	_	
その他の積立金	139, 976	139, 976	0		
次期繰越活動収支差額	139, 123	122, 296	16, 827		
(うち当期活動収支差額)	△5, 499	△4, 052	△1, 447	ľ	
純資産(資本)の部合計	289, 558	271, 731	17, 827		
負債及び純資産の部合計	293, 114	275, 097	18, 017	ı	

事業活動収支計算書

((自) 平成24年4月1日 (至) 平成25年3月31日 (単位千円)							
			勘定科目	合計	社会福祉事業	公益事業		
ηZ		事	事業活動収入(1)	86, 650	66, 300	20, 350		
支	動	棠	事業活動支出(2)	92, 211	70, 411	21, 800		
^		活	事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)	△5, 561	△4, 111	△1,450		
	動	事	事業活動外収入(4)	63	541	7		
支	外	業	事業活動外支出 (5)	0	481	4		
L	収	活	事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	63	60	3		
			経常収支差額 (7)=(3)+(6)	△5, 498	△4, 051	△1, 447		
ηΔ	援	就	就労支援事業収入(8)	0	0	0		
支	事	労	就労支援事業支出(9)	0	0	0		
	業	支	就労支援事業活動収支差額 (10)=(8)-(9)	0	0	0		
	特		特別収入 (11)	0	0	C		
3	支牙		特別支出 (12)	1	1	0		
	Ц	Z	特別収支差額 (13)=(11)-(12)	Δ1	Δ1	0		
			税引前当期活動収支差額 (14)=(7)+(10)+(13)	△5, 499	△4, 052	△1,447		
		****	法人税、住民税及び事業税負担額 (15)	0	0	0		
		*****	当期活動収支差額 (16)=(14)-(15)	△5, 499	△4, 052	△1,447		
			前期繰越活動収支差額(17)	150, 098	131, 824	18, 274		
	繰		当期末繰越活動収支差額 (18)=(16)+(17)	144, 599	127, 772	16, 827		
	越		基本金取崩額(19)	0	0	0		
1	活		基本金組入額 (20)	0	0	0		
1	動		その他の積立金取崩額 (21)	0	0	0		
	収		その他の積立金積立額 (22)	5, 476	5, 476	0		
	支		次期繰越活動収支差額 (23)=(18)+(19)-(20)+(21)-(22)	139, 123	122, 296	16, 827		

(23) = (18) + (19) - (20) + (21) - (22)

資金収支計算書

(白) 平成25年4月1日 (至) 平成26年3月31日

(E	(自) 平成24年4月1日 (至) 平成25年3月31日 (単位千円)							
			勘定科目	合計	社会福祉事業	公益事業		
収		経	経常活動収入(1)	86, 589	66, 717	20, 357		
支	動	常	経常活動支出(2)	89, 535	68, 216	21, 804		
_		活	経常活動収支差額(3)=(1)-(2)	△2, 946	△1, 499	△1, 447		
収	援	就	就労支援事業収入(4)	0	0	0		
支		労	就労支援事業支出(5)	0	0	0		
Ĺ	業	支	就労支援事業活動収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		
支	備	施	施設整備等収入 (7)	0	0	0		
	等	設	施設整備等支出(8)	0	0	0		
L	収	整	施設整備等収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0		
重	h ph	ŧ	財務活動収入計(10)	0	0	0		
	収 務 支 活		財務活動支出計(11)	5, 476	5, 476	0		
3			財務活動収支差額 (12)=(10)-(11)	△5, 476	△5, 476	0		
予付	青費	(1	3)	0	0	0		
当	期資	(金)	収支差額合計 (14)=(3)+(6)+(9)+(12)-(13)	△8. 422	△6. 975	∆1. 44 7		
	ALIBERT BLI VE A TRACT							
400000	前期末支払資金残高(15)			28, 194	8, 920	19, 274		
当排	朋末	支払	L資金残高 (14)+(15)	19, 772	1, 945	17, 827		

平成25年度 資金収支予算表

(公益事業会計)

						1 然20 干皮
(社会	福祉法	(単位:円)				
			勘定科目	合計	本部	身体障害者の更生相談
			受託事業収入	57, 710, 000	0	57, 710, 000
			経常経費補助金収入	0	0	0
経	Ě		寄付金収入	3, 000, 000	3, 000, 000	0
常	Š	収入	雑収入	2, 700, 000	2, 700, 000	0
活	i		受取利息配当金収入	15, 000	15, 000	0
動	b		経理区分間繰入金収入	7, 150, 000	0	7, 150, 000
10	:		経常収入計(1)	70, 575, 000	5, 715, 000	64, 860, 000
ょ	:		人件費支出	26, 121, 463	1, 200, 000	24, 921, 463
る	5		事務費支出	37, 034, 537	1, 370, 000	35, 664, 537
収	ι	支出	事業費支出	2, 140, 000	0	2, 140, 000
支	Ē		経理区分間繰入金支出	7, 650, 000	765, 000	0
			経常支出計(2)	72, 946, 000	10, 220, 000	62, 726, 000
		経常活動	資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2, 371, 000	△4, 505, 000	2, 314, 000
又よ 等	整	収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0
をるに	備言	支出	施設整備等支出計(5)	0	0	0
		経常活動	資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
る動	財	収入	積立預金取崩収入	5, 400, 000	5, 400, 000	0
収に	務	42.7	財務収入計(7)	5, 400, 000	5, 400, 000	0
支ょ	: 活	支出	財務支出計(8)	0	0	0
		財務活動	資金収支差額(9)=(7)-(8)	5, 400, 000	5, 400, 000	0
予備費	(10)			2, 000, 000	0	2, 000, 000
当期資	金収支	差額合計	(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	1, 029, 000	895, 000	134, 000
				·		
前期未	支払資	金残高(12)	9, 949, 723	5, 252, 199	4, 697, 524
当期未	支払資	金残高(1	1)+(12)	10, 978, 723	6, 147, 199	4, 831, 527

月

12

日

(日)、「第2回はばたきミニュ

害の教訓を強調して触れています。す。その具体的例として、薬害HI

ない、ということを明確に表明していま献血血液は「単なる商品」にしてはなら源である。」と位置づけています。そして、

的に提供された献血血液は貴重な国家資

コンサー

(公益争某芸訂) (目)平成25年4月1日 (主)平成26年3月31日 (単位:円)							
		勘定科目	合計	相談・支援事業	調査研究事業	教育啓発事業	
		受託事業収入	4, 000, 000	4, 000, 000	0	(
		経常経費補助金収入			16, 350, 000		
経		寄付金収入	0	0	0	(
常	収入	雑収入	0	0	0	(
活		受取利息配当金収入	0	0	0	(
動		経理区分間繰入金収入	900, 000	900, 000	0	(
15		経常収入計(1)	21, 250, 000	4, 900, 000	16, 350, 000	(
ょ		人件費支出	1, 600, 000	100, 000	1, 500, 000	(
る		事務費支出	17, 950, 000	2, 300, 000	14, 850, 000	800, 000	
収	支出	事業費支出	2, 500, 000	2, 500, 000	0	(
支		経理区分間繰入金支出	900, 000	0	900, 000		
		経常支出計(2)	22, 950, 000	4, 900, 000	17, 250, 000	800, 000	
	経常活	助資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1, 700, 000	0	△900, 000	△800, 000	
支よ備旅	収入	施設整備等収入計(4)	0	0	0	(
る等該	支出	固定資産取得支出	0	0	0	(
収に整		施設整備等支出計(5)	0	0	0	(
	施設	整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	(
るに活	収入	財務収入計(7)	0	0	0	(
収よ動	支出	財務支出計(8)	0	0	0	(
	財務活	助資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	(
当期資金収	支差額1	合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△1, 700, 000	0	△900, 000	△800, 000	
前期未支払	資金殊?	高 (12)	17, 574, 826	3, 014, 228	5, 768, 360	8, 792, 23	
		高(11)+(12)	15, 874, 826		4, 868, 360	7, 992, 23	

後機関紙等でお知 いと考えてい していきます いことは、今 、ます

充実させていきた 迫田さんの詩の朗読は多く

の来場者の心に響いました

支援が広がったミニコンサート 新たに 13 名の方が賛助会員に

もので、 引き続き、 会連合会理事長) 今回は、東京HIV訴訟弁護団の水口真ていただいている方にお願いしています。 ナー 今 ?美先生がオペラを歌いました。水口先生 \vdash 中5曲なり は Ļ が初めてのコンサートでしたが、緊 被害者と賛助会員の方を対象とした 出演者もはばたきの活動を支援し 伊藤雅治さん を歌いあげました。 催されました。このコンサ のシャンソン、 (全国社会保険協 また前 内藤麗 回に お断し、すべての人の健康のために「あれていきます。市民の立場から、社会を一会的責任を共有する仕組みづくりを提案を表し、 え、はばたき福祉事業団では、公平な社は、 そこで、こうした国際的な動向もふま

好評だったホルン演奏や詩の朗 一回はバンドネオンとトロンボ モリアルコンサー 読

加

(単位・円)

催されました。今回 が、3月5日 、松崎裕さんと新人のファゴット奏者、 池辺晋一郎さんのピアノ演奏ととも 9 は ば たきメモリ 毎回好評の迫田朋子さ は日本のホルンの第 田ホー アルコンサ バンドネオン ルにて開

です。 演奏以外の部分もので薬害エイズ事件についての語りなど、 の三浦一馬さんとトロンボーンの宮下宣子 奏家もすでに決まりました。 友病や薬害HIV被害との闘いを綴ったもんによる詩の朗読、九州のある被害者の血 だきました。また、 福士マリ子さんの演奏などで楽しんでいた 来年は記念となる第10回を迎えます。演 会場の多くの方の心に響くものでした。 10回の記念ということで、 原点に返

謝いたします。

薬害HIV被害の教訓をもとに あたたたかな献血」実現の研究を

「建康で社会的に献身的な人々から自発WHOの専門家グループは、献血血液を されています。このVNRBDについて、 継続的な市民の参加・とりくみが必要と munerated Blood Donation) のそれぞれ のことです。そのためには、 か?自発的無償献血(Voluntary,Non-Re 頭文字をとった言葉です。 V 完全に自発的な助け合いによる献血、 R В Dという言葉をご存知です 言葉のとお 政策提言や

ご協力、たいへん感様の温かいご支援、 0 ・サー 口先生 1 をきっ カン

円集まりました。皆 募金も56,10 が賛助会員に加入し 歌ってくれました。 てくださり、当日の ン歌手のリリ・レイさんがサプライズで い、新たに 13名の方| また、このミニコン 者全員による合唱も行いました。最後 伊藤さんの先生でもあるシャンソ S D 式会社) 0 ピアノ 演

2013.6.20 Habataki 3

たたかな献血」が実現するための

·Pによる相互扶助侵害の危機

日本が育んだ良さを大切にしよう

献血・国民皆保険とTPP

れていると信じています。 に「助け合い」の 精神が脈

うと「血液法」が制定されました。の献血血液で、国内の血液製剤は自給しよ の献血血液で、国内の血液製剤は自給しよのこもった贈り物、助け合いの象徴として 国内の血液製剤を、日本の人たちからの心 たことが大きな原因でもありました。日本 |友病治療に有効に寄与されていなかっ 製剤によるHIV感染被害、献血血 たちに襲いかかった輸入血 液 | 凝固因 一液が

を伺 と考えます。 ような相互扶助の仕組みを大切にすべき (長谷川三枝子代表世話人)」の勉強会で (皆保険は税金が投入されているため、治(相互扶助)で成り立っています。他の国でいました。世界に比類のない助け合い。 6の一定制限があると聞いています。 この [民皆保険について演者の方々からお話 を医療政策に反映させるあり方協議会 また、私どもも参加しています「患者の

合診療や医療の格差、差額ベッドなど、本ているやに見えます。民間の医療保険は混 来皆保険で保障されている医療の (自己負担)と保険診療の混合医療を勧め一方、医療者・医療機関等には先進医療 格 !差が

寄附金が税額控除されます 寄附金・賛助会員のおりで支援、ご協力お願いし のお願

す。しかし、や補助金、助 めには、多くの方からのご寄附、組み、被害者を永続的に救済してにしておりますが、事業を安定的 してきており、 のご支援が欠かすことが しておりますが、事業を安定的に取り はたき福祉事業団の活動は、 被害者を永続的に救済していくた Rり、経費節減の努力を最大限し、運営費用は年々厳しさを増助成金などで運営されていま できませ 拠出金

0)

版相互扶助が侵害される危機感を強く感 進めるTPPがあります。格差社会、日本 じています。TPPの流れで日本独自 に、海外資本の医療保険や医療の自由 な んだ社会を崩して欲しくありません。 ような社会が削られて ľ 、ます。 背景 化を 0 育

スモン被害者の闘いの歴史に耳を傾け 被害者としての活動の重要性を再認識

原告団は活動を続けてきました。課題解決のためにににたえれる 29 V わ 日 決のためにはばたき福祉事業団やに和解という形で解決して以降、 ゆる薬害エイズ裁判が平成8年3

月

周年記念集会は3月23日、フクラシア東以来毎年開催しています。本年の和解17和解記念集会を、和解6周年の平成14年に、和解の時期に東西の原告団主催による た、スモンの被害者の方にお話をうかがいとしてより長い年月を戦い続けてこられ 祉事業団は、事務局として準備、運営に携京ステーションで行いました。はばたき福 のことを広く社会に訴え続けていくためその活動の一環として、薬害エイズ事件 ていくことの重要さを再認識しました。 わっています。今回の集会では薬害被害者 ました。被害者として恒久的に活動を続け また、厚生労働省からは、大臣の代理

ました。 合に税額控除も受けられるように た。これにより、 月 1日に税額控除対象法人となりまし たき福祉事業団は、 個人が寄附を行った場 平成 23 年 なり 11

だき、ぜひとも暖かいご支援を賜ります く、寄附者にとって大きなメリットにな で、所得控除と比べて減税効果が大き税額から直接控除額を差し引きます ます。こうした制度もご利用していた 卒お願 申 一げます。

ŋ

を再認識いたし 献花も行いました。来場者は約70名でし 拶をいただきました。参加者全員による た。毎年毎年続けて として医薬食品 局長に献花 いく必要があること およ がご挨



スモン被害者は1960 代から闘い続けています

1

います。

各支部の活動 から

研修会や情報交換会を開催

恒例の「チョコっとの愛」 ●北海道支部っとの愛しも

の発表と、「HIV感染者の腎障害」と題GOの活動などさまざまな領域から4題HIV情報交換会」を開催し、治療やNしていただきました。3月には、「北海道 なった「チョコっとの愛」キャンペーンお願いしました。6月には、恒例行事にしてACCの潟永博之先生に特別講演を を使い、自分の今を振り返ることに挑戦 ードを配布しました。 を行い、1000個のチョコレートとカ になっている参加者が自分のために時間 2 月 \mathcal{O} 研 修会」では、いつも人を支える側 0 HIV陽性者を支える人のた

この言葉を忘れず頑張っていきた 死なない! 絶対死なない! 様間に、き、 全国 調に の参 でも最善の医療が地元で受診出来るよう I的に、重複感染の方の症状の悪化をL関して関心があるかが伺えました。w加があり、いかに皆さんが自分の体 患者家族が一丸となってこの地方昨年のような亡くなる方が出ない た会には最近にはない15 名

> この言葉をいつも忘れずに、この地方も 皆で頑張って行きたいと思っています。 た、「僕は、死なない・絶対死なない・ 昨年の大臣協議で、患者の方が発言され 張って行きたいと思って 11 ま

薬害エイズを風化させないために 大分薬害エイズ和解の日の集いに参 九州支部へいに参加

ズ和解 えました。そして、会場に集まった支援 こ大分に集う意味についてあらためて考 に運動を継続しなければいけないと させないため、 者の皆さんとともに、薬害エイズを風化 きた運動を振り返り、毎年和解の日にこ が で開催された集会の映像を見て、被害者 緒に参 まさに命を削るようにしてたたかって いを新たにしました。 3 月 28日に大分で開催された薬害エ 加しました。17年前に同じ会場 日の集いに今年も患者や遺族と 薬害を繰り返さないため いう

社会福祉法人はばたき福祉事業団 Social Welfare Project HABATAKI Welfare Project

●東 京 本 部 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9 番 20 号 新小川町ビル 5F TEL 03-5228-1200 FAX 03-5227-7126 ●北海道支部 〒064-0805 札幌市中央区南 5 条西 10 丁目

サンハイツ南 5条 1005号 TEL/FAX 011-551-4439 〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町 7-14 銀杏ビル 102号

TEL/FAX 022-791-9270 〒461-0001 名古屋市東区泉 1-1-35 ハイエスト久屋 5F ●中 部 支 部 柴田・羽賀法律事務所気付

TEL/FAX 0583-89-4909 〒810-0062 福岡市中央区荒戸 3-2-5 ●九 州 支 部 東峰マンション第一西公園 303 号 TEL/FAX 092-717-6329